

やる気・やさしさ・根気強さのある子どもを育てる ～あいさつ・返事をする 命を大切にする 感謝する～



南っ子だより 家庭・地域版

文責 長崎市立南長崎小学校 校長 入江寿紀

文化・芸術の秋！ 「学び」の秋でもあります。

先生方も頑張っています。校内研修についてお知らせします。

南長崎小学校では、昨年度に引き続き社会科の研究を行っています。令和6年度に開かれる九州地区小学校社会科研究大会長崎大会の会場校となり、令和6年11月29日の発表に向けて、長崎市教育委員会、長崎市教育研究会社会科部会の協力を得ながら、研究を進めているところです。

1学期には、6年1組担任紫垣研吾教諭の「大昔のくらしとくにの統一」の研究授業、3年2組担任田中僚樹教諭の「かまぼこ工場の仕事」の研究授業、夏季休業中は、学年ごとに2学期以降の授業の指導案検討を行いました。2学期に入り、先月10月20日に4年1組担任宮崎由都教諭の「わたしたちの町に伝わる祭り」の研究授業を行いました。どの研究授業も、子どもたちの学習中の態度、話し合う姿、発言のすばらしさなどについて、参観の先生方から、多くのお褒めの言葉をいただきました。しかしながら、まだまだ工夫・改善する余地が残されていて、さらに研究を深めていかなければならないと日々研究を重ねているところです。子どもたちに生きる力と確かな学力を育むため、研究を続けていきます。

社会科は、問題解決的な学習を仕組むことができ、子どもたちに学ぶ意欲を育てるとともに、学び方を身につけさせることのできる教科です。自分の身の回りの社会で起こっている事象を正しくとらえ、理解し、自分とのかかわりを考え、自分ならどうするかなどを考え、これからの社会生活やくらしに役立てていける教科でもあります。過去を学び、現在を知ることでこれからの未来を考え、自分たちの力で未来を創っていくこともできます。大切な教科の一つです。

2学期も半分を過ぎ振り返りの時期となりました。今週は、5年生の宿泊学習、4年生の出場する長崎市小学校音楽会があります。子どもたちは様々な体験を通して学んでいます。

